
**全国健康保険協会千葉支部
第 19 回 健康づくり推進協議会
(令和 3 年 8 月書面開催)**

**千葉支部第 2 期保健事業実施計画（データヘルス計画）
上位目標の分析報告について**

千葉支部第 2 期保健事業実施計画（データヘルス計画）上位目標の分析報告

【目的】

千葉支部においては、第 2 期保健事業実施計画（データヘルス計画）の上位目標を「**糖尿病による新規透析者の透析導入時の平均年齢を 55.6 歳（平成 28 年度）から 60 歳以上に改善する。**（10 年以上経過後に達成する目標）」としているが、当支部健康づくり推進協議会委員（千葉県衛生研究所 佐藤眞一技監）からの上位目標についての精査と分析方法に関する助言に基づき、達成状況の中間評価として分析を実施した。

【方法】

平成 26 年度から令和元年度における、年度毎の糖尿病による新規透析者（以下、新規透析者）の資格情報、健診受診有無、保健指導実施有無、レセプト診療情報等をリスト化し、新規透析者数及び透析導入時平均年齢の推移、加入種別（本人・家族）及び男女別での構成割合、健診受診の状況、健診受診者と未受診者の比較、透析導入時の年齢分布、透析導入時年齢の階層別推移についてのグラフ資料を作成し、佐藤技監との資料等に関する意見交換を基に考察を行った

【結果】

- 千葉支部の加入者数は年々増加（平成 26 年度末 791,899 人、令和元年度末 996,730 人、1.26 倍に増加）しているが、新規透析者数は年間 100～110 人と横ばいで推移しており、加入者全体に対する割合は低下傾向にあった。
- 新規透析者における健診受診者の割合は、加入者全体の健診受診率の向上に比例して、平成 26 年度 24.3%から増加が見られ、令和元年度は 34.3%であった。
- 透析導入時平均年齢を健診受診の有無別でみると、健診受診者で平均年齢が上昇（改善）し、未受診者で平均年齢が低下（悪化）する傾向がみられた。
- 年齢階層別でみると、年度によってばらつきはあるものの、各年度とも概ね 60 歳代までは年齢の上昇に伴い増加、70 歳代で低下する傾向がみられた。
- 加入種別では、平成 26 年度を除いて本人（被保険者）が 7 割、家族（被扶養者）が 3 割と、加入者全体に占める本人割合より 10%ほど高い。男女比では男性 7 割強、女性 3 割弱であった。
- 新規透析者の多くが透析導入年月より以前から糖尿病等での医療機関受診歴があり、中には診療開始日が、協会けんぽ加入以前となっている者も少なくなかった。
- 新規透析者が年間 100～110 人では、若年者及び高齢者 1 人の増減が、上位目標である新規透析導入時の平均年齢に大きく影響することがわかった。

【結論】

透析導入時平均年齢の比較において、健診受診者で上昇（改善）し、未受診者で低下（悪化）する傾向がみられたことから、上位目標達成のためには、健診受診率の向上が有効であり、それに伴った保健指導実施率の向上及び医療機関への受診勧奨への取り組みを継続、強化していく必要がある。

また、加入（資格取得、扶養認定）から透析導入まで短期間である者が多く、雇入れ時の健康診断や労働安全衛生法に基づく定期健診の結果によって従業員を適切な医療につなげることが健康経営の視点から重要であり、事業主や産業医との連携が必要であると考え。特に 40 歳未満の者は特定健診対象外であるため、保険者は健診データを有さず、直接に保健事業につなげることは困難である。協会けんぽとしては、従業員が透析導入となった場合の生産性の低下等を事業主に周知するなどして、コラボヘルスを推進することが重要であると考え。

最後に、協会けんぽ加入者の特徴として、別制度（国保、健保組合）や別事業所（別資格）への出入りが多いことから、若いうちからの対策や状況の追跡・継続的な分析をするうえで、制度間での診療情報や健診結果データの受け渡し、資格間での紐づけができる枠組みが必要である。

年度			2014	2015	2016	2017	2018	2019	
			H26	H27	H28	H29	H30	R1	
糖尿病による新規透析者			110名	101名	110名	101名	111名	103名	
透析導入時の平均年齢			56.9歳	57.3歳	55.6歳	58.1歳	57.8歳	56.8歳	
構成	本人 (被保険者)	男性	54名	71名	76名	64名	73名	71名	
		女性	9名	2名	3名	7名	7名	5名	
		計	63名	73名	79名	71名	80名	76名	
	家族 (被扶養者)	男性	18名	6名	9名	10名	13名	6名	
		女性	29名	22名	22名	20名	18名	21名	
		計	47名	28名	31名	30名	31名	27名	
構成割合									
			本人	57.3%	72.3%	71.8%	70.3%	72.1%	73.8%
			家族	42.7%	27.7%	28.2%	29.7%	27.9%	26.2%
			男性	65.5%	76.2%	77.3%	73.3%	77.5%	74.8%
			女性	34.5%	23.8%	22.7%	26.7%	22.5%	25.2%
健診受診者			25名	25名	29名	30名	38名	34名	
健診受診者の内訳	本人 (被保険者)	男性	23名	25名	28名	29名	35名	31名	
		女性	2名			1名	2名	2名	
		計	25名	25名	28名	30名	37名	33名	
	家族 (被扶養者)	男性							
		女性			1名		1名	1名	
		計	0名	0名	1名	0名	1名	1名	
健診受診者割合(対健診対象年齢者)			24.3%	25.8%	27.9%	30.9%	34.5%	34.3%	
健診受診者割合の内訳 (対健診対象年齢者)									
			本人	41.0%	35.2%	36.4%	42.9%	46.3%	44.6%
			家族	-	-	3.7%	-	3.3%	4.0%
			男性	33.8%	33.8%	33.7%	40.3%	40.7%	42.5%
			女性	5.7%	-	5.3%	4.0%	12.5%	11.5%
健診受診者の透析導入平均年齢			52.4歳	55.8歳	55.1歳	57.9歳	56.6歳	57.5歳	
未受診者の平均年齢(健診対象年齢者)			60.6歳	59.3歳	57.5歳	59.7歳	58.8歳	57.9歳	
保健指導実施者			3名	4名	1名	2名	5名	4名	
保健指導実施者の内訳	本人 (被保険者)	男性	2名	4名	1名	2名	4名	4名	
		女性	1名				1名		
		計	3名	4名	1名	2名	5名	4名	
	家族 (被扶養者)	男性							
		女性							
		計	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
保健指導実施者割合(対健診受診者)			12.0%	16.0%	3.4%	6.7%	13.2%	11.8%	
保健指導実施者割合 (対健診受診者)									
			本人	4.9%	5.6%	1.3%	2.9%	6.3%	5.4%
			家族	-	-	-	-	-	-
			男性	2.9%	5.4%	1.2%	2.8%	4.7%	5.5%
			女性	2.9%	-	-	-	4.2%	-
未治療者への医療機関受診勧奨者			0名	2名	4名	5名	12名	7名	
医療機関受診勧奨者の内訳	本人 (被保険者)	男性		2名	4名	5名	12名	6名	
		女性						1名	
		計	0名	2名	4名	5名	12名	7名	
	家族 (被扶養者)	男性							
		女性							
		計	0名	0名	0名	0名	0名	0名	

※健診対象年齢者は本人35歳以上、家族40歳以上

※健診受診、保健指導及び受診勧奨は、当年度以前に実施があればカウント

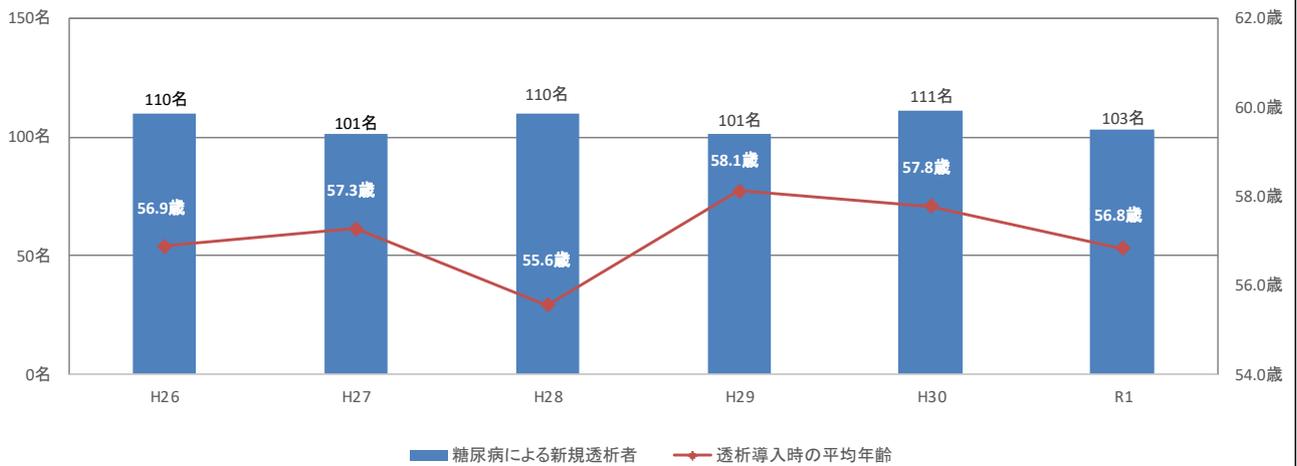
※任意継続被保険者は前職での健診受診有無も確認

※40歳未満は保健指導対象外、うち家族は健診受診及び未治療者への医療機関受診勧奨も対象外

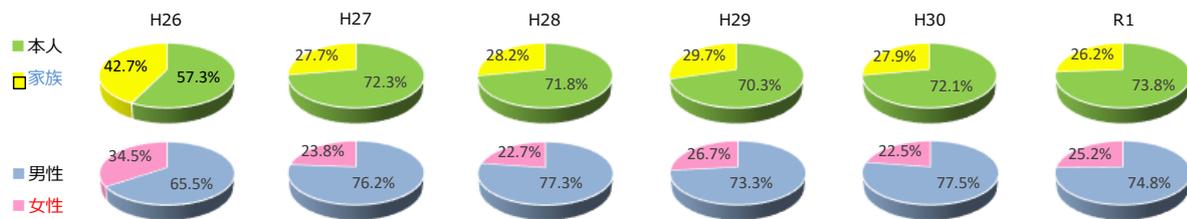
※35歳未満は健診受診、保健指導及び未治療者への医療機関受診勧奨ともに対象外

※未治療者への医療機関受診勧奨は本人のみでH25.10月(H25.4月健診受診分)より開始。H30.1月以降は一次勧奨者リストと突合、H25.10月～H29.12月は健診受診者リストより対象者を抽出して突合

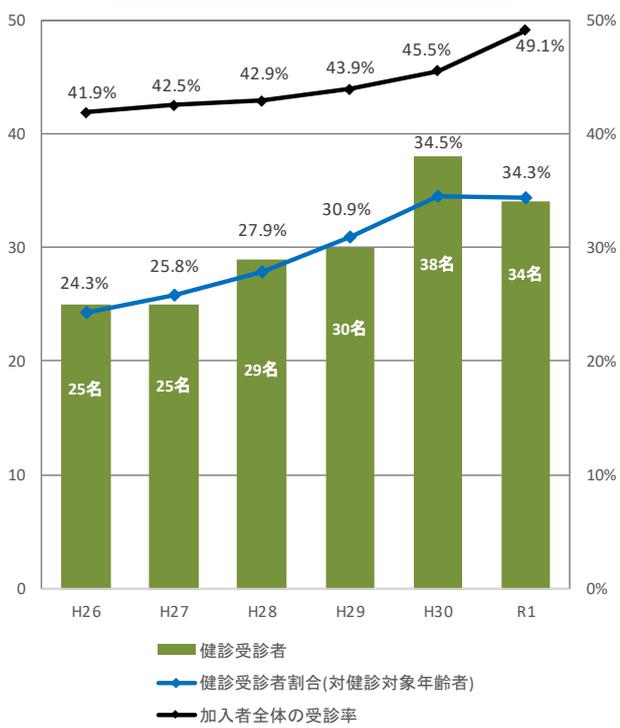
糖尿病による新規透析者数・透析導入時平均年齢の推移



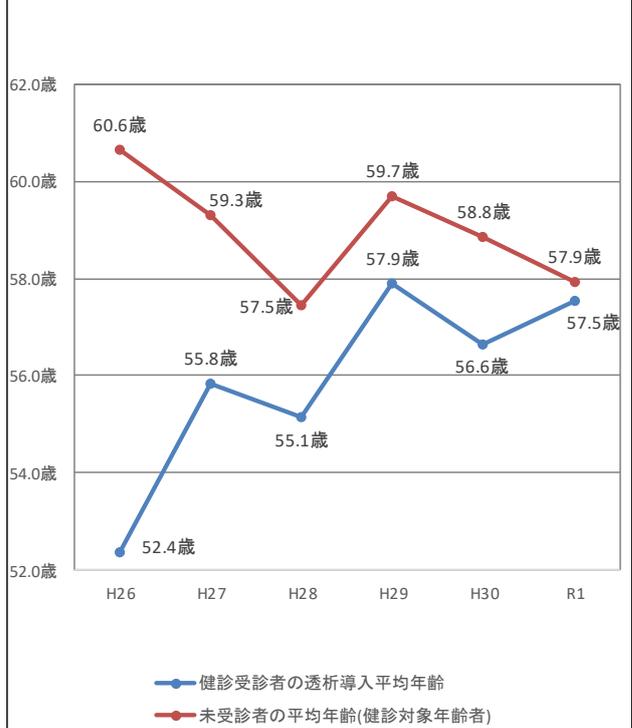
糖尿病による新規透析者の構成割合



健診受診者数・割合 (対健診対象者)

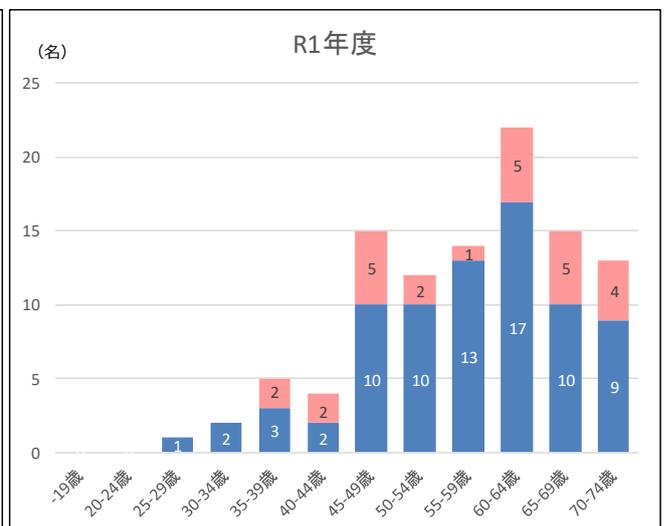
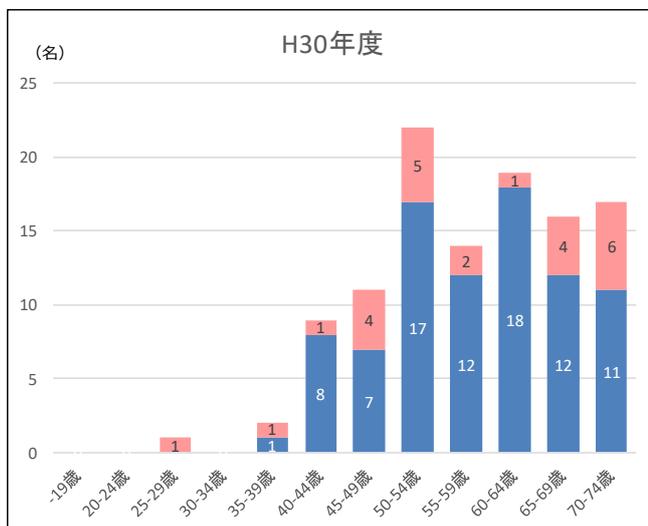
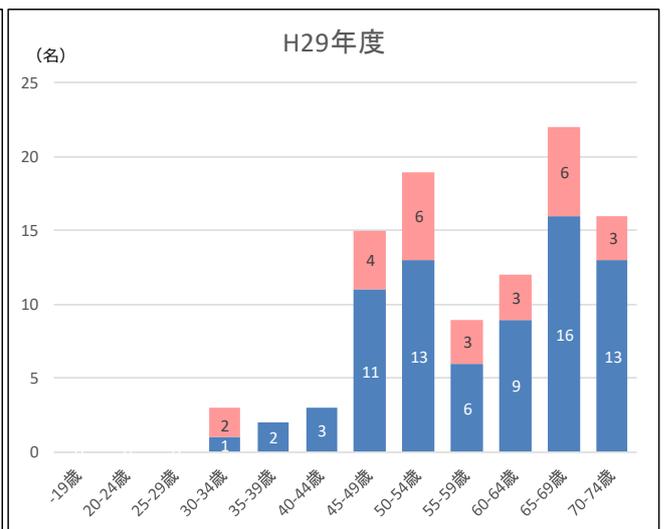
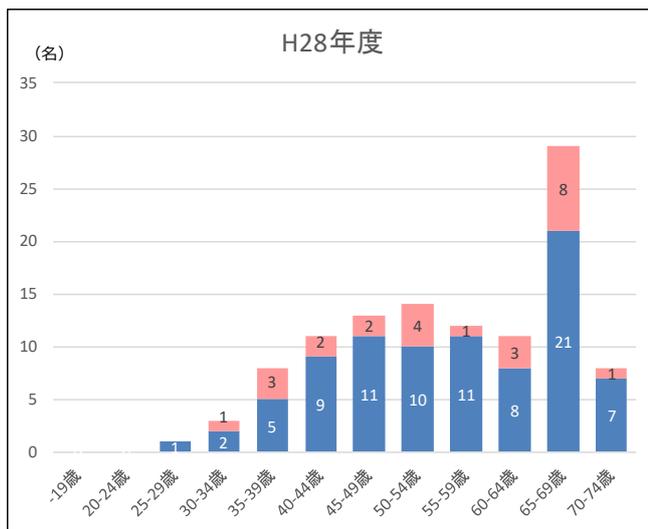
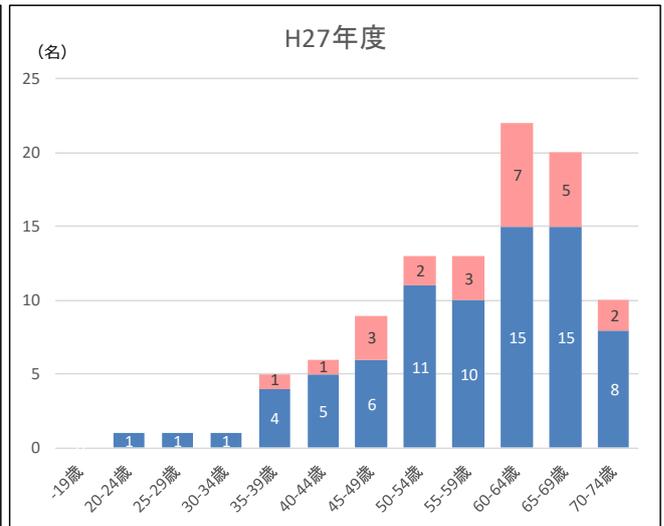
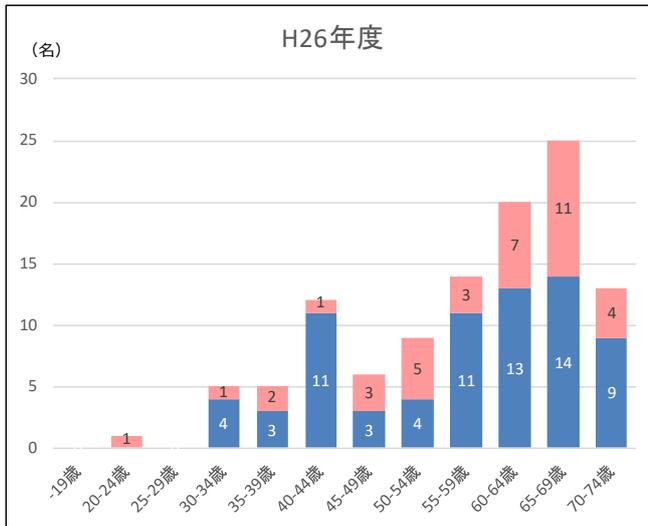


健診受診者と未受診者の透析導入平均年齢比較



糖尿病による新規透析者の透析導入時の年齢分布

女性
男性



糖尿病による新規透析者の透析導入時年齢階層別の推移

● 健診受診率
■ 女性
■ 男性

